

2025年12月22日

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 運営部物流課

「2027年国際園芸博覧会 倉庫運営・保税管理業務委託」 契約結果

2027年国際園芸博覧会 倉庫運営・保税管理業務委託 について、公募型プロポーザル方式で、受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

1 件名 2027年国際園芸博覧会 倉庫運営・保税管理業務委託

2 委託内容 物流倉庫運営業務 等

3 契約の相手方 日本通運株式会社横浜支店

4 契約金額 499,499,875円(税込)

5 契約日 2025年12月19日

6 評価結果

提案者	評価点数	順位
日本通運株式会社横浜支店	1420	1
株式会社日新	1255	2
丸全昭和運輸・商船三井ロジスティクス企業共同体	1229	3

7 評価基準・評価委員会開催経過等

委員会開催日時	2025年10月3日(金) 13時00分～16時00分
委員会開催場所	公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 6階大会議室
評価委員の出席状況	評価委員5名中4名出席
事務局	公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 運営部物流課
議事内容	・プロポーザル評価委員会までの経緯について ・受託候補者の特定について ・今後のスケジュールについて
評価基準	別紙のとおり

8 問い合わせ先

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

担当:運営部物流課 勝田・足立

TEL:045-307-2092

**2027年国際園芸博覧会 倉庫運営・保税管理業務委託のプロポーザルに係る
提案書評価基準**

表1の評価項目及び配点ウエイトのもと、評価を行います。

各評価項目の評価の着目点は表2のとおりとします。

表1 基本的事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価 点
業務実績 (20点)	業務責任者	2000年以降での同種又は類似の業務の実績は十分か	10	
	業務担当者	2000年以降での同種又は類似の業務の実績は十分か	10	
	全般	国際園芸博覧会の運営上必要となる物流を理解した上で、本業務の実施方針、体制、業務全体の進め方、業務行程の考え方について、明確で具体的な提案がされているか。	30	
	全般	見積り金額について積算根拠が明示され、業務ごとの内訳が確からしい内容であるか。	30	
	(1) 保税管理業務	業務経験を十分に有するものを配置し、時期に合わせた適切な運営体制となっているか。	30	
	(1) 保税管理業務	台帳やシステムを用いた適切かつ効率的な管理方法となっているか。	30	
	(2) 物流倉庫環境整備	使用する設備・機器を具体的に示した上で、物流倉庫内の安全かつ効率的な運用について提示しているか。	30	
	(3) 物流倉庫運営業務	業務経験を十分に有するものを配置し、時期に合わせた適切な運営体制となっているか。	30	
	(3) 物流倉庫運営業務	本博覧会の特徴を捉え、物流倉庫運営で発生し得る問題点を具体的に想定し、その対応方法を検討しているか。	30	
	(4) 倉庫管理システムの構築・運用	業務説明資料の内容を踏まえ、具体的な構築イメージが提案されているか。	30	
	(4) 倉庫管理システムの構築・運用	活用を想定する既存システムの実績と本業務への活用方法（カスタマイズ箇所の明示等）が提案されているか。	30	

	(5) 業務関係車両入退場管理システムの構築・運用 業務説明資料の内容を踏まえ、具体的な構築イメージが提案されているか。	30		
	(5) 業務関係車両入退場管理システムの構築・運用 活用を想定する既存システムの実績と本業務への活用方法（カスタマイズ箇所の明示等）が提案されているか。	30		
	追加提案 業務説明資料に記載がない要件や観点について、協会にとって有益な追加提案があるか。	30		
ヒアリング (20 点)	理解力や専門技術力があるか	10		
	取り組み意欲が感じられるか	10		
ワーク・ライフ・バランス に関する取組 等 (6 点)	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満の場合のみ加算）	1		
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員 101 人未満の場合のみ加算）	1		
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク）の取得、又は女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼしマーク）の取得	1		
	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得	1		
	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.5%を達成している（従業員 40 人以上）、又は障害者を 1 人以上雇用している（従業員 40 人未満）	1		
	健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得	1		
業務遂行能力 (15 点)	事業経費の積算は妥当で、費用対効果が高いものとなっているか	15		
評価点の合計（421 点）				

評価方法

- (1) 業務実績、追加提案、業務遂行能力は、A、C、Eの3段階評価を行う。
- (2) 提案内容、ヒアリングは、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。
- (3) 評価点については、次のように配点を行う。

ア 業務実績の各項目

配点 A=10 点、C=6 点、E=2 点

イ 提案内容及びヒアリング

配点 A=30 点、B=24 点、C=18 点、D=12 点、E=6 点

ウ 提案内容のうち追加提案

配点 A=30 点、C=15 点、E=0 点

エ 業務遂行能力

配点 A=15 点、C=9 点、E=3 点

- (4) ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、各項目を1つ満たすごとに1点を加算する。
- (5) 提案内容（追加提案を除く）とヒアリングの評価項目において、D、E評価のあるものは原則として選定しない。
- (6) 評価点について最上位の者が2者以上同点となった場合には、評価委員会にて採択を行い、最上位を決定する。
- (7) 業務実績、ワーク・ライフ・バランス、業務遂行能力に関する取組等は、1者ごとに事務局が評価を行い、評価委員会で承認を行う。
- (8) 提案内容、ヒアリングは、1者ごとに各評価委員が評価を行う。
- (9) 業務実績、提案内容、ヒアリング、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等、業務遂行能力の評価点の合計を評価委員全員分集計し、その合計点を当該提案者の評価結果とする。
- (10) 評価点は、評価委員1名につき満点で421点とし、評価委員全員の合計で $421 \text{ 点} \times 5 \text{ 名} = 2,105 \text{ 点}$ で満点とする。
- (11) 共同企業体を組成する場合、業務実績は、1者以上の構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (12) 共同企業体を組成する場合、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、代表者たる構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (13) 評価委員が欠席した際には、その委員の評価点は無効とし、委員会に出席した委員のみで評価を行う。
- (14) ヒアリングを実施しなかった場合には、ヒアリングに関する評価はC ($20 \text{ 点} \times 3 / 5 = 12 \text{ 点}$) とする。
- (15) 提案された見積金額を業務実績、提案内容、ヒアリング、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等の点数の合計点で除した数値を1点あたりの費用金額とし、これが少ないものをより優れているものとする。

見積金額 ÷ (業務実績、提案内容、ヒアリング、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等の合計点) = 1点あたりの費用金額

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点	A	B	C	D	E
業務実績	業務責任者 2000年以降での同種又は類似の業務の実績は十分か。	国際博覧会やオリンピック等の大規模国際イベントや国際会議に係る物流に関する業務を履行した実績がある。		海外出展者が10%以上である国際展示会に係る物流に関する業務を履行した実績がある。		大規模国際イベントや国際会議、国際展示会に係る物流業務を履行した実績がない。
	業務担当者 2000年以降での同種又は類似の業務の実績は十分か。	国際博覧会やオリンピック等の大規模国際イベントや国際会議に係る物流に関する業務を履行した実績がある。		海外出展者が10%以上である国際展示会に係る物流に関する業務を履行した実績がある。		大規模国際イベントや国際会議、国際展示会に係る物流業務を履行した実績がない。
提案内容	【全般】 国際園芸博覧会の運営に必要となる物流を理解した上で、本業務の実施方針、体制、業務全体の進め方、業務行程の考え方について、明確で具体的な提案がされているか。	十分な理解に基づいた明確で具体的な提案である	一定程度の理解に基づいた明確で具体的な提案である	どちらともいえない	やや理解や具体性に乏しい提案で、妥当性に欠ける	理解や具体性が乏しく、妥当ではない
	【全般】 見積り金額について積算根拠が明示され、業務ごとの内訳が確からしい内容であるか。	全体に、積算根拠が明示され、内訳の確からしさが十分認められる。	一部を除き、積算根拠が明示され、内訳の確からしさが十分認められる。	どちらともいえない	積算根拠は明示されているものの、確からしい内容とはいえない。	積算根拠が十分に示されていない
	【（1）保税管理業務】 業務経験を十分に有する者を配置し、時期に合わせた適切な運営体制となっているか。	経験者の配置と適切な運営体制の提案が十分なされている。	一部を除き、経験者の配置と適切な運営体制が提案されている。	どちらともいえない	経験者の配置はなされているが、適切な運営体制とはいえない。	経験者が十分配置されていない。

	【（1）保税管理業務】台帳やシステムを用いた適切かつ効率的な管理方法となっているか。	適切かつ効率的な管理方法について、十分な提案である。	一部を除き、適切かつ効率的な管理方法となっている。	どちらともいえない	適切ではあるが効率的とはいえない。	適切な管理办法とはいえない。
	【（2）物流倉庫環境整備】使用する設備・機器を具体的に示した上で、物流倉庫内の安全かつ効率的な運用を提示しているか。	設備・機器が具体的に示され、安全かつ効率的な倉庫運用と認められる。	設備・機器は具体的に示されているが、安全かつ効率的な倉庫運用とはいえない。	どちらともいえない	設備・機器や倉庫運用について検討が不十分である。	設備・機器について具体的に示されていない。
	【（3）物流倉庫運営業務】業務経験を十分に有するものを配置し、時期に合わせた適切な運営体制となっているか。	業務経験を十分に有するものを配置し、時期に合わせた適切な運営体制となっているか。	一部を除き、経験者の配置と適切な運営体制が提案されている	どちらともいえない	経験者の配置はなされているが、適切な運営体制とはいえない。	経験者が十分配置されていない。
	【（3）物流倉庫運営業務】本博覧会の特徴を捉え、物流倉庫運営で発生し得る課題を具体的に想定し、その対応方法を検討しているか。	本博覧会の特徴を捉えた課題の想定及び対応方法の検討が十分なされている。	一部を除き、本博覧会の特徴を捉えた課題の想定及び対応方法の検討がなされている。	どちらともいえない	課題と対応方法について記載はあるが、想定・検討が不十分である。	本博覧会の特徴を捉えた提案ではない。
	【（4）倉庫管理システムの構築・運用】業務説明資料の内容を踏まえ、具体的な構築イメージが提案されているか。	具体的で優れた構築イメージである。	具体的ではあるが、標準的な内容である。	どちらともいえない	構築イメージが具体的とはいえない。	業務説明資料の内容を踏まえていない。
	【（4）倉庫管理システムの構築・運用】活用を想定する既存システムの実績と本業務への活用方法（カスタマイズ箇所の明示等）が提案されているか。	十分な実績のある既存システムをベースとし、本業務での活用方法が明示され優れた内容である。	既存システムの実績と活用方法の記載はあるが、標準的な内容である。	どちらともいえない	既存システムの実績が十分とはいせず、活用方法について懸念がある。	既存部分と活用方法に関する記載がない。

	<p>【（5）業務関係車両入退場管理システムの構築・運用】</p> <p>業務説明資料の内容を踏まえ、具体的な構築イメージが提案されているか。</p>	具体的で優れた構築イメージである。	具体的ではあるが、標準的な内容である。	どちらともいえない	構築イメージが具体的とはいえない。	業務説明資料の内容を踏まえていない。
	<p>【（5）業務関係車両入退場管理システムの構築・運用】</p> <p>活用を想定する既存システムの実績と本業務への活用方法（カスタマイズ箇所の明示等）が提案されているか。</p>	十分な実績のある既存システムをベースとし、本業務での活用方法が明示され優れた内容である。	既存システムの実績と活用方法の記載はあるが、標準的な内容である。	どちらともいえない	既存システムの実績が十分とはいせず、活用方法について懸念がある。	既存部分と活用方法に関する記載がない。
追加提案	業務説明資料に記載がない要件や観点について、協会にとって有益な追加提案があるか。	有益な追加提案で、非常に優れている。		有益な追加提案がある。		追加提案は特はない。
ヒアリング	理解力や専門技術力があるか	十分な理解に基づいた適格な提案である	一定程度の理解に基づいた的確な提案である	どちらともいえない	理解がやや乏しい提案である	理解が乏しい提案である
	取り組み意欲が感じられるか	強い意欲が認められる	意欲が認められる	どちらともいえない	あまり意欲が認められない	意欲が認められない
業務遂行能力	1点あたりの費用金額	業務遂行の費用対効果が1番目に高いもの		業務遂行の費用対効果が2番目に高いもの		業務遂行の費用対効果が3番目以下のもの